

こう じょ 更生女だより

第 3 4 号
令和 8 年 3 月 1 日
尾花沢市更生保護女性会

更生保護女性会は、罪を犯した人や非行のある少年たちの立ち直りに協力することを目的とした法務省管轄のボランティア団体で、社会を明るくする活動に取り組んでいます。

第53回山形県更生保護大会

10月24日、山形テルサにおいてみだしの大会が開催されました。この大会は、県内の更生保護関係者が一堂に会して研鑽を図り、意識の統一と士気の高揚を図るために毎年開催されているもので、保護司及び更生保護女性会員、協力事業主等、約800名が参加しました。

式典に先駆け、歴史愛好家 小形利彦氏による「山形県初代県令三島通庸とその周辺」～山形監獄署と西南戦争国事犯の山形流涕日誌～と題した記念講演が行われました。遠く離れた地で起きた西南戦争と、山形の縁を知る貴重な機会となりました。

式典では、更生保護事業に功労のあった方々に対し、各種表彰が行われました。

尾花沢市更生保護女性会の受賞者は次の方々です。

○ 東北地方更生保護女性連盟会長表彰

梶川 智子さん（尾花沢） ・ 有路トシ子さん（常盤）

○ 山形保護観察所長感謝状

西塚 幸子さん（尾花沢） ・ 大類かづ子さん（福原）

小林日出子さん（宮沢） ・ 高橋タキ子さん（玉野）

おめでとうございます。



山形県更生保護女性会員研修大会



10月9日、約300名の会員が村山市民会館に集い、各地の活動報告と講演会が行われました。寒河江市からは「地域との連携・協働活動」について、また、高畠町からは「子育て支援地域活動」についての報告がありました。本市からは21名の会員が参加し、会員一同大きな刺激をいただき活動への意欲を高めました。

「羽陽和光会」への贈り物

昨年末、歳末助け合い運動の一環として更生保護施設「羽陽和光会」（山形市）に、米10キロとうどん30束をお届けしました。

「羽陽和光会」は、刑務所を出所後、様々な事情を抱えた人たちが一時的に身を寄せる施設です。当会では、入所者の皆さんの更生を願って、この活動を30年以上にわたり毎年実施しています。



会員視察研修会 ～山形保護観察所、山形刑務所見学～

11月6日、山形保護観察所を訪問し、吉村所長より講話をいただきました。その後質疑応答があり、どの質問に対しても大変丁寧に説明をしていただきました。午後は山形刑務所を見学して回り、質疑応答の後、会員それぞれに受刑者製作の製品を購入して来ました。

一日がかりの日程でしたが、普段体験できないことなので、緊張して肩が凝りましたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。

初めて研修会に参加しました。吉村所長さんから観察所関連の施設の説明から幅広い話題まで、分かりやすくお話していただきました。終始にこやかに人柄の良さがにじみ出ていました。中でも、観察官のなり手があまりいないという話には驚きました。そして、「あまり世話にはなりたくない所だな」とも思ってきたところです。

玉野地区 高橋タキ子

刑務所はとても立派な建物で、ゴミ一つないきれいな施設でした。でも、部屋は3畳と狭く、息がつまりそうでした。受刑者は全国から収容されており、山形県内の方は10%余りと少ないことを知りました。早く刑を終えて出所更生して欲しいものだと思います。なかなか見られない所を見ることができてよかったです。

常盤地区 古瀬美子



「新会員お誘いの集い」を開催

12月16日、東光館において「新会員お誘いの集い」を開催しました。事前にお声がけしていた方々をお招きし、東海林会長のあいさつの後、会員手作りの紙芝居「吾作ものがたり」と「幸せの黄色いリボン」の読み聞かせを行い、「更生保護」の考え方や会の目的について説明をしました。また、広報担当からは、会報を見ながら実際の活動の様子について紹介がありました。

その後、お茶をいただきながら、自由に話し合う場を設けました。参加した方からは、「知り合いから誘われたので、お話だけでも伺おうと来ましたが、活動内容が分かり、やってみようかと思いました。」との声があり、心強く感じました。

尾花沢市更生保護女性会では、随時会員を募集しています。お近くの会員に、お気軽にお声がけください。



編集後記

豪雪に見舞われた今年の冬。ようやく、待ち望んだ春の気配が感じられる頃となってきました。

当会の活動を知っていただくため、機関紙第34号を発行いたしました。今後とも、活動へのご理解ご協力をお願い申し上げます。（広報部）